

～ 賀川豊彦献身 100 年から 10 年 ～ Merry Christmas & a Happy New Year!

賀川豊彦が貧しい人々が住む地域に住み込み、活動を開始した 1909 年、その 100 年後 2009 年に「賀川豊彦献身 100 年」として記念事業を行いました。その時に出した宣言文があります。

「賀川豊彦献身 100 年記念事業 神戸プロジェクト宣言」

1909 年 12 月 24 日、21 歳の賀川豊彦は貧困にあえぐ人々のために献身しようと、当時劣悪な環境で生きることを強いられた人々が生活する地域に入っていました。賀川豊彦は当時死の病と恐れられていた肺病を病み、余命幾ばくもないと宣告されていた身体でしたが、貧困と差別のただなかにあって困難を抱えた人々と共に暮らし、徹底してこれらの人々のために働いたのです。

その 1909 年から 1923 年までの 14 年にわたる神戸での活動は、福祉の向上を目指して、キリスト教伝道にはじまり、労働運動、協同組合運動（生活、農業、漁業、林業、医療、共済）、平和運動、無産政党活動に発展しました。その活動は、神戸に留まらず、関東大震災の救援を契機に日本全国に広がり、福祉、教育、医療、生産、労働、協同組合、平和、人権、共生という、私たちの暮らしを支える根幹を築くことに、その生涯を捧げました。

これらの活動は諸事業の萌芽となり、それぞれのスペシャリストによって専門分化され、今なお、社会の下支えを担っています。しかし、現代社会の課題は、深刻で複雑です。それらの課題は、個々の専門的なアプローチだけでは難しく、全体像を把握し、対症療法

ではない課題解決を可能にするためには、各専門分野が互いに協働することが必要ではないでしょうか。

100 年前の賀川豊彦の活動は、目の前に迫る困難に向かって、福祉、教育、医療、生産、労働、協同組合、平和、人権、共生といった多様な取り組みを、渾然一体のものとして展開させています。それぞれの取り組みが互いに協働することが、最大の効力を発揮したからです。

私たちは、賀川豊彦の多様な取り組みに出会い、100 年を遡って検証し、また新たな 100 年を見通し、互いの方針や垣根を越えた、現代にふさわしい形を模索することで、多くの課題を解決し、共に生きる社会を実現することを目指します。

2007 年 4 月 28 日

賀川豊彦献身 100 年記念事業
第 1 回神戸プロジェクト委員会

福祉も専門分化し、質の高い内容を築いてきました。ただ、専門分化することによって見えなくなっている課題があります。人をトータルに捉える時、家族を捉える時、地域社会を捉える時、見えなかったものが見えてきます。制度に当てはまらない課題は見えてきません。いや、見ようとしていないのかもしれませんが。

賀川豊彦が法や制度がなかった時代にトータルに人を捉えて、目に前で苦しむ人に仕えたことを思う時、私たちはもう一度、賀川の原点に戻って、人々、社会を見ていく必要があると思います。

賀川豊彦献身 100 年、2009 年から 10 年が過ぎました。賀川の思いを引き継ぎ、次の 100 年に向かって、2020 年からの歩みをスタートしたいと思います。

館長 馬場一郎



2007 年 4 月 28 日
賀川豊彦献身 100 年記念事業 第 1 回神戸プロジェクト委員会

予告!! 町の上映会 2 月 29 日『かみさまとのやくそく』を上映!

この映画の主人公はあなたです

～胎内記憶に隠された人生の目的とは?～



この映画には 音楽もナレーションもありません。

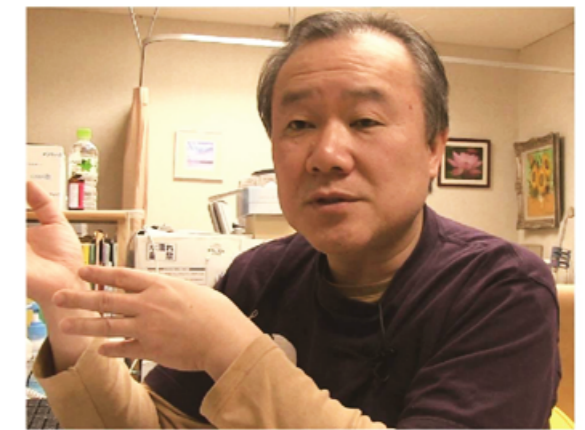
胎内記憶研究の第一人者、池川明医師。
生まれ変わり現象を科学的に研究する日本の第一人者、中部大学の大門正幸教授。
幼児教育の専門家である飛谷ユミ子さん、かがみ知子さん。
子どもと向き合うスペシャリストたちの現場をカメラは丁寧にみつめます。
先入観なく、研究者、教育者が子どもたちと真剣に向き合う姿を、対話(ダイアログ)の息づかいを感じとってください。



胎内記憶 (intrauterine memory)

2～3 歳の子どもの間、胎内のことや出産時のことを語ることもあり、これを胎内記憶と呼ぶ。胎内記憶を研究している池川明医師によると、精子だった記憶や、前世記憶、中間生記憶 (受精する前の記憶) を語る場合もあるという。

「現代用語の基礎知識 2013」(自由国民社)より



おひとりおひとりがご自身のお母様や、身近な子どもたちとの つながりを考える時間を共有できたなら……そのような思いで作られた映画です。

2 月 29 日 (土) 町の上映会

時間：10：00～11：40 上映会、13：30～15：10 上映会、15：15～16：15 映画感想会
会場：賀川記念館 4 階ホール (午前・午後で上映する映画の内容は同じです)
参加費：上映会のみ 1,000 円、上映会+感想会 (ワンドリンク付き) 1,500 円
主催：賀川記念館天国屋カフェ、協力：NPO 法人はち、トランジションタウン神戸

天国屋ナイトカフェ 催物は参加無料ですので、どなたでもお越しください。

催物 1 月 24 日 (金) 19：00～ 田中純子リサイタル (ソプラノソロ演奏)
2 月 28 日 (金) 19：00～ ぱすてる (フルーツ・ピアノ演奏)
3 月 27 日 (金) 19：00～ 大人の発表会

年末年始のお知らせ

賀川記念館ミュージアムは、12 月 28 日 (土)～1 月 3 日 (金) 休館いたします。
天国屋カフェは、12 月 26 日 (木)～1 月 4 日 (土) 休業いたします。

第53回賀川記念館フェスティバル

ご協力感謝です!! ありがとうございました



写真：のみの市の様子

11月3日、第53回賀川記念館フェスティバル（バザー）を楽しく、また事故なく終えることができました。今年は暖かい中で、例年通りすべてのコーナーを実施でき、たくさんの人に来ていただき、にぎわいました。入場者も600名を数え、多くのボランティアの皆様、地域の皆様に支えられて開催することができました。旧賀川記念館の時代、1965年から始まったこのバザーは、今年で53回を迎えました。この53回はみなさまのご支援、ご協力に支えられて、この地域とともに歩んできた歴史でもあります。またその開催の目的にも地域福祉事業の資金協力とともに当初から「地域との交流」が掲げられていました。「賀川記念館フェスティバル実行委員会」でも、その歴史を踏まえ、趣旨・目的をしっかりと捉えて開催していくことが確認され、進めてまいりました。

今年も趣旨にご賛同いただき、ご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。フェスティバルで得た収益につきましては、その趣旨・目的に沿い、「賀川記念館の働きのために」使わせていただきます。

今後ともご理解・ご支援いただきますように、どうぞよろしくお願いいたします。

※最終的な売り上げ、収益は以下の通りです。

収入計	815,700円（寄付、賛助広告含む）
支出計	246,073円
収益計	569,627円

（震災支援で岩手県宮古市の障がい者施設で作られた物品を販売しその売り上げ12,900円は、そのまま現地の施設に送らせていただきます）

※収益金につきましては今年度の目的に沿い

- ①地域福祉に根ざした隣保事業のため
- ②友愛幼稚園保育教材購入のため
- ③災害の被災地支援のための製品販売
- ④賀川記念館ミュージアム運営のために使わせていただきます。

ありがとうございました。

社会福祉法人イエス団 賀川記念館

フェスティバル実行委員会委員長 祐村 明
館長 馬場一郎



写真：布引中学校吹奏楽部の演奏

天国屋ナイトカフェ



7月19日 池田騎聡さん ピアノ演奏

NPO法人の地球屋本舗で活躍している池田さんは、ピアノを弾くことがとても好きで、自分でも作曲しておられます。現代的なメロディーに聴衆は聞き入っておられました。



9月20日 BELL & TREE ピアノ演奏

昨年に続き、2度目の演奏です。鈴木翔太さんは、右手が動かず、左手のみの演奏に毎回チャレンジしてくださっています。また、お父さまは、一緒にピアノを練習するようになって、腕前をあげ、今では、ライブハウス等でも活動されているということです。



10月18日 竹中真

秋のジャズライブは2度目！今回は、神戸大学大学院生の井上太一さんのドラムとセッションを展開



秋のジャズライブ

し、お二人の興奮が伝わって来るようなすばらしい演奏でした。次回は、来年6月第3金曜日。乞うご期待。



11月15日 Special Night Concert

神戸市中央区の社会福祉協議会有志によるジャズセッションと、SONEでも活躍しておられるデュオのお二人のジャズナイト。某ビール会社の部長さんでもあるボーカルの石田裕子さんはお話しも上手で、ギターの田村太一さんと共にみんなを魅了しておられました。



12月6日 箏演奏 聖夜に響く弦のうた

伝統的な箏の音色とは違って、クリスマスの夜を盛り上げてくれる讃美歌とバロックの音色。聴衆はほぼ全員が初体験の箏演奏だったのではないのでしょうか。

濱地智枝さんは、神戸栄光教会のメンバーでもあって、たくさんの栄光教会員が参加してくださいました。

総合研究所講演会

「私を束ねないで

—関西学院大学における多様性尊重の取り組み—
7月13日(土) 講師 武田 丈氏



「賀川記念館隣保事業天国屋カフェ10周年記念プロジェクト×総合研究所プログラム」

当館では、天国屋カフェが始まり来年4月で10年目に入ることを記念し、天国屋カフェ10周年記念プロジェクトを始動致しました。社会の中にある人権

課題を題材とした様々な企画を考えており、第一弾として「性～セクシュアリティ～」をテーマにイベントを企画致しました。その記念すべき第1回目に関西学院大学の人間福祉学部教授 武田 丈先生をお招きし、当館の総合研究所プログラムとのタイアップ企画として実施しました。

関西学院大学では2013年より関学レインボーウィークが行われており、学生の多様性尊重、また人権教育として一週間に渡りイベントが行われます。今年のテーマは「私を束ねないで～This is me～」個々の持つ「性のかたち」をはじめ様々な面で枠に当てはめない考え方を発信し、共に多様性を祝うイベントとなっています。

講演会では、自らの中にある固定概念を見つけるワークや他の人との違いを見つけるワークを行い、まず人と自分について考える時を持ちました。それを踏まえた上で「性」についての詳しいご説明をして頂きました。

参加者には保育関係者、学生、教授、地域の方々など多くの方にご参加頂きました。感想の中には、“自分の固定概念に気がつくことが出来た”“とても有意義な時間であった”“自分は何が出来るか、新たな視点をもらった”などそれぞれがいろいろな思いを持ちながら参加されていた事がわかりました。

男性、女性の2つだけではない性のかたちがある事を学び、私達が今後どのように人と関わっていくか、それぞれが感じている課題の中でまた一つ深めることが出来たのではないかと思います。

関西学院大学にて大事にされている多様性の尊重を通して、この社会で生きる私たちがどう生きていくかを考える機会となりました。

「子どもの貧困について考える」

11月9日(土) 講師 石田賀奈子氏

立命館大学産業社会学部の石田賀奈子先生に「子どもの貧困について考える」というテーマでご講演いただきました。

参加者は10名と少なかったのですが、大学のゼミのようにワークを取り入れて、先生と参加者でやり取りをしながら、深い学びができました。

まず、児童福祉の成立から現代の「子どもの貧困」までの流れとその内容が説明され、子どもの貧困の課題、これからの取り組みについてお話がありました。

先生は特におちいりがちなアプローチとして、“犠牲者を責めるというイデオロギー”ということを言われました。「問題のある人」は、さまざまな要因が絡みあって、そのような状況に追い込まれた犠牲者であり、「問題の原因は個人にある」とみるかぎり、その個人以外の人は問題解決の責務から免れることができる。そして同じ状況が継続すると言われます。根本的な問題解決のためには、個人だけではなく、社会背景にも目を向けなければならないと・・・。“お母さんが意識を変えるとよくなりますよ”、とうことではない、“問題は子どもの中にある”ではないということです。本当に、私たちがおちいりがちな考えです。制度の中で仕事をしている私たちが、忘れてはいけない視点だと思えます。

私たちは、「子どもの貧困」が貧困問題一般から切り離され、「家族責任」や「学習支援」に矮小化されることについて、また、「大人の貧困」、「大人の生きづらさ」が「自己責任」とされることについて、“そうではない”ということを確認に、しっかり押さえておくべきだと思います。

いい学びの時間になりました。これからも、現代における「子どもたちの課題」を取り上げ、みんなで考えていきたいと思えます。



町の上映会

8月24日「サティッシュの学校」

ガンディー思想の継承者サティッシュ・クマールさんは、「人間の身の丈にあった教育運動」を展開して、英国でシューマッハー・カレッジを設立。その様子をドキュメンタリーで紹介したこの映画をみて、この学校に行きたいと思った人も多いでしょう。映画の後の話し合いは、少人数だったからこそ、それぞれの現場と重ね合わせながらの討議となって、有意義な時間を過ごすことができました。



天国屋カフェ10周年記念プロジェクト

10月19日「私はワタシ」

天国屋カフェ10周年記念プロジェクト、今回は「性～セクシュアリティ～」をテーマにした映画、「私はワタシ～Over the Rainbow」を上映しました。一般社団法人 Get in Touch 制作のもと約50名の当事者の方が、様々なセクシュアリティで生きるなかでどう感じ、どう生きているのかを代表を務める女優の東ちづるさんのインタビュー形式で撮られた作品です。

また今回は、映画に登場される当事者の方の監修を

コア100 賀川グループ新人研修

コア100 賀川グループとは、賀川豊彦を組織の創設者、あるいはそれに準ずるものとしている組織で、「賀川豊彦献身100年記念事業」の時にその実行を担った組織の集まりです。コープこうべ、全労済、近畿ろうきん、兵庫県漁連、JA 兵庫、共栄火災、イエス団、YMCA、ならコープ等で、毎年一回シンポジウムを行い、また年に3～4回集まり情報交換を行っています。これらの組織の新人を集めての研修会を毎年行っています。今年は10月16日に、5組織14人の参加を得て行いました。

午前中に賀川豊彦の『死線を越えて』の映画を見、午後から『賀川豊彦の思想と実践』についての講義を聴いた後、4つのグループに分かれて、グループディスカッションを行いました。その結果、それぞれの現



され、主演を務められた長谷川博史さんをゲストに迎える事が出来ました。

長谷川さんのお話では、映画製作の背景や一般的なLGBTQについての知識など、ご自身の事についてもお聞きすることが出来ました。

長谷川さんの持つ多くの方との繋がりの中で、この映画製作は実現されました。質疑応答では参加者からも様々な質問がなされ、非常に有意義な時間となりました。中には性というテーマの映画である事を知らずに参加された方もおり、本当に多様な繋がりの中でこの映画会について知り、多くの方にご参加頂きました。

今回の映画会は、天国屋カフェ10周年記念プロジェクトのイベントとしても大きなイベントでした。この映画を通して「性～セクシュアリティ～」についてはもちろん、この賀川記念館の隣保事業についても知っていただく、実際に関わって頂く、そのようなイベントにしたいと思い、計画をしました。実際に本当に多くの方々にご参加頂き様々なご意見・ご感想を頂戴しまして、良かったとの声も頂いています。

今後のイベント企画をする上で、皆様のご意見を参考にし、次のイベントに繋げていけたらと思います。

在の問題が浮かび上がり、今後行うべき課題が明確になり、新たな目標に向けて頑張る決意が出来ました。今年も有意義な研修ができました。



総合研究所 講演会予告 !!

「性～セクシュアリティ～」をテーマに、子どもの育ちの中にある「性」を中心に
お話いただきます！ぜひお越しください！

天国屋カフェ10周年記念プロジェクト×総合研究所プログラム
日時：2020年2月22日(土) 14:00～16:00
講師：大阪府立大学教授 東 優子(ひがし ゆうこ)氏

鳥飼慶陽の新連載 賀川豊彦を読む

第五回 「賀川豊彦と協同組合運動」



鳥飼慶陽さんの新連載「賀川豊彦を読む」、その第5回は、『賀川豊彦と協同組合運動』です。鳥飼さんは、1966～1968年、神戸イエス団教会伝道師として活躍され、その後、賀川豊彦に倣って長田区に「番町出合いの家」を開設されました。賀川豊彦の研究者であり、現在は賀川豊彦の同労者にフォーカスをあて多くのブログを公開されています。

過日（11月14日）、「コープこうべ」のOBである山崎敏輝さんと重元勝さんらの呼びかけで、標記の「賀川豊彦と協同組合運動」をテーマにした公開講演会が神戸市勤労会館で開催され、山崎さんが「コープこうべ再生への提言」を、わたしが「賀川豊彦と協同組合運動」について発題をしました。

このテーマで話すのは初めてのことでしたが、全国各地から100名ほどの参加者があり、集いの後の喫茶店での語らいにも、多くの方々が残られて、楽しく有意義な交流の時を過ごしました。

2年前に刊行された『賀川豊彦著作選集』全5巻（一般財団法人アジア・ユーラシア相互研究所刊）に少し関係を持たせて頂いたこともあり、その『著作選集』の宣伝も少々。思いがけず、美しい花束なども贈っていただいたりして・・・。

賀川さんにとって、生涯もっとも体重をかけて推し進めた活動分野のひとつが「協同組合運動」ですから、その関係者の方々がいまも、この運動の源流をたずねて学びを重ねてこられていることに、深い敬意を覚えさせられました。「コープこうべ」の一層の進展を期待しています。

わたしたちも神戸において「労働者協同組合」（ワーカーズコープ）や「高齢者協同組合」などのささやかな取り組みを続けてきていますが、その源流も賀川さ

んたちの熱い志につながるものですね。

集われたみなさんには、最近出した拙い書物『賀川豊彦と私たち一部落問題の解決と番町出合いの家』（部落問題研究所）を寄贈させていただきました。



「賀川豊彦と私たち」（定価 2,000+税）
「賀川豊彦著作選集（一）～（五）」は、賀川記念館にて販売中です。



賀川記念館のボランティア ⑮ 「天国屋ボランティア」有田 洋子さん

賀川記念館にはたくさんのボランティアの方々関わっています。シリーズ「賀川記念館のボランティア」第15回は、天国屋カフェでボランティアとして関わってくれています有田洋子さんを紹介します。

有田洋子さんは、2010年4月にカフェがオープンして間もない頃から、手伝ってくれているボランティアで、無くてはならない存在です。最初は、料理の補助のようなお手伝いでしたが、今では月に何度かメニューも担当してくださいますし、ほとんどの料理について熟知しておられます。

天国屋カフェは、隣保事業の一手段です。喫茶店の発展形ではありません。有田さんのようなボランティアがたくさん関わることで、自分自身の変革にもつながりますが、多様な人びとのネットワークが広がり、隣保事業の意味を深めていると思います。「町の上映会」や「はいず」（外国にルーツをもつ子どもの学習教室）などもすべて隣保事業の枝葉となっています。

賀川記念館の隣保事業の一つひとつが花を咲かせ、有田さんのような人がどんどんと自分の人生を積極的に生きていく人になってくれればと思います。



天国屋カフェの台所を手伝ってくださるボランティアを募集しています!!

賀川記念館 賛助会から

いつも賀川記念館をお支えいただきましてありがとうございます。2019年7月1日から11月30日までの報告をさせていただきます。

賛助会費	1,022,000 円
寄付金・クリスマス献金	98,759 円
真愛ホーム・友愛幼稚園献金	24,000 円

合計 1,144,759 円

これからも皆様のお支えにより、さまざまな活動を行ってまいります。今後とも引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

賀川記念館の歩み

2019年

- 7月**
- 2 (火) こくみん共済coop (栃木・広域) (説明・見学)
 - 4 (木) こくみん共済coop (居住域) (説明・見学)
 - 5 (金) 頌栄短期大学 (見学)
 - 7 (日) こくみん共済coop (神奈川・山梨) (説明・見学)
 - いすゞ自動車労働組合 (見学)

- 11 (木) 語り部の会
- 12 (金) 大山町人権・同和教育推進協議会 (説明・見学)
- 13 (土) 講演会 (武田 丈さん)
- 19 (金) ナイトカフェ
- 20 (土) コープこうべ100周年プロジェクト (説明・見学)
- 22 (月) コープこうべ100周年プロジェクト (説明・見学)
- 23 (火) JA 愛知中央会 (説明・見学)

- 8月**
- 2 (金) 全国ホンダ労働組合連合会 (説明・見学)
 - 4 (日) 関学神学部加納クラス (説明・見学)
 - 6 (火) 友愛幼稚園 (説明・見学)
 - 8 (木) コア100 賀川例会 (於 JF 兵庫漁連)
 - 9 (金) 友愛幼稚園 (説明・見学)
 - 23 (金) 友愛幼稚園 (説明・見学)
 - 24 (土) 町の上映会「サティシュの学校」

- 9月**
- 4 (水) コープ自然派事業連合 (説明・見学)
 - 7 (土) パルシステム東京 (説明・ウォーク)
 - 10 (火) コープこうべ第一地区本部・ゆり学院 (説明・見学)
 - 11 (水) 大阪同和人権問題企業連絡会 (見学)
 - 12 (木) 語り部の会 ガーデンロイ (説明・見学)
 - 13 (金) 日本医療ソーシャルワーク学会 (説明・見学)
 - 17 (火) コープこうべ第3地区本部 (ウォーク・見学)
 - 20 (金) ナイトカフェ
 - 22 (日) 大阪姫松教会 (見学)
 - 28 (土) 地域と協同の研究センター (見学)
 - 29 (日) 長崎国際大学 (説明・見学)

- 10月**
- 3 (木) 兵協連 (見学)
 - 4 (金) コア100 賀川例会 (於ならコープ)
 - 5 (土) パナソニックプロセスオートメーション労働組合 (説明・見学)
 - 10 (木) 語り部の会
 - 14 (月) 西宮東鳴尾ルーテル教会 (説明・見学)
 - 16 (水) コア100 賀川企業合同新人研修 (説明・見学)
 - 17 (木) ガーデンロイ (説明・見学)
 - 18 (金) 韓国グループ (見学) ナイトカフェ
 - 19 (土) 町の上映会「私はワタシ」
 - 22 (火) 韓国グループ (見学)
 - 24 (木) ひょうご部落解放・人権研究所 (見学)
 - 25 (金) こくみん共済coop 関西 (説明・見学)

- 11月**
- 1 (金) 東芝労働組合小向支部 (説明・見学)
 - 3 (日) 賀川記念館フェスティバル
 - 7 (木) 門真家庭教会 (見学)
 - 8 (金) コープこうべ第1地区活動本部くらしの助け合いの会 (説明・見学)
 - 9 (土) 富桑地区公民館 (説明・見学) 講演会 (石田 賀奈子さん)
 - 10 (日) 静岡県労協 (説明・見学)
 - 12 (火) 城崎コミュニティセンター (説明・見学)
 - 北島町教育委員会 (説明・見学)
 - 14 (木) ガーデンロイ (説明・見学)
 - 15 (金) ナイトカフェ
 - 17 (日) 徳島県東富田コミュニティ協議会 (説明・見学)
 - 21 (木) 中央小学校 (説明・見学)
 - 27 (水) 語り部の会
 - 30 (土) パナソニックエナジー労働組合 (見学)

記念館ミュージアム入場者数

7月	一般 63名	団体 196名	行事 65名	合計 324名
8月	一般 38名	団体 120名	行事 23名	合計 181名
9月	一般 41名	団体 135名	行事 52名	合計 228名
10月	一般 26名	団体 129名	行事 79名	合計 234名
11月	一般 63名	団体 251名	行事 680名	合計 994名